

小中学生100万人 3000校減

R4年 7/19 2010年から10年学ぶ機会確保課題

少子化の影響で、小中学校に通う児童生徒が大幅に減っている。2020年は全国で約956万人と、10年より100万人近く減少。国の統計を基に、10年間で児童生徒が30%以上減った自治体数を共同通信が調べたところ、全国1892市区町村のうち346によることが判明した。特に郡部では過疎化も相まって学校の統廃合や休校が加速。小中学校は20年に2万9793校と、10年間で約3千校も減った。

【焦点3面に】

県内2万7800人 27校減

長野県内の20年の児童生徒は15万9925人で10年より2万7818人(14.8%)減少。73市町村で児童生徒が

減少。73市町村で児童生徒が減少した。減少した市町村は、長野県上北山村以外では、奈良県上北山村

文部科学省は毎年、教育機関数や在籍者数、進学動向などを集計し「学校基本調査」として公表している。共同通信はこれを基に、児童生徒数や、国立・公立・私立小中学校の増減率を市区町村別で算出した。

児童生徒数の減少率が最も高かったのは99%減少した福島県大熊町だが、東京電力福島第一原発事故という特殊な要素が大きい。それ以外では、奈良県上北山村が81%減。10年の36人から7人になった。群馬県南牧村では65%減、木曾郡王滝村が64%減と過疎の村が目立つ。



王滝村の王滝小学校。子どもが減って王滝中学校は今春から休校し、村内の小中学生は木曾町中学校に通っている。15日

児童生徒数の減少率が最も高かったのは99%減少した福島県大熊町だが、東京電力福島第一原発事故という特殊な要素が大きい。それ以外では、奈良県上北山村が81%減。10年の36人から7人になった。群馬県南牧村では65%減、木曾郡王滝村が64%減と過疎の村が目立つ。

一方、237市区町村では増加した。東京都や大阪府、愛知県、福岡県など大都市圏が多いが、南箕輪村のように1413人から1501人(6%増)と堅調に増加した自治体もある。都市部のベッドタウンとして発展したほか、子育て世帯を支援する取り組みが評判を呼んだケースもある。

都道府県別の減少率では青森と福島が25%以上、秋田、岩手が20%以上と東北地方が目立つ。増加は東京だけだった。児童生徒数が極端に少ない小規模校は、多数が参加する部活動ができないなど学習機会の確保が課題で、自治体は工夫や発想の転換で豊かな学びを提供することが求められる。

都道府県別の減少率では青森と福島が25%以上、秋田、岩手が20%以上と東北地方が目立つ。増加は東京だけだった。児童生徒数が極端に少ない小規模校は、多数が参加する部活動ができないなど学習機会の確保が課題で、自治体は工夫や発想の転換で豊かな学びを提供することが求められる。教育の質の向上や合理化のため、小中一貫の「義務教育学校」や複数の自治体が共同で設置する「組合立学校」など学校の形態も多様化。上水内郡信濃町が12年に五つの小学校を統廃合し小中一貫校を新設したり、福岡県吉富町が隣接する豊前市と組合立の中学校を設置したりと工夫を進めている。

2010年と20年の77市町村ごとの小中学校の児童生徒数と学校数 ※()は学校数

| | 10年児童生徒数 | 20年児童生徒数 |
|-------|--------------|--------------|
| 長野市 | 3万3837人 (89) | 2万9335人 (89) |
| 松本市 | 2万0915人 (57) | 1万9282人 (56) |
| 上田市 | 1万4046人 (37) | 1万2103人 (37) |
| 岡谷市 | 4520人 (12) | 3556人 (11) |
| 飯田市 | 9332人 (28) | 7990人 (28) |
| 諏訪市 | 4399人 (11) | 3888人 (12) |
| 須坂市 | 4632人 (15) | 3903人 (15) |
| 小諸市 | 3698人 (8) | 3150人 (8) |
| 伊那市 | 6237人 (21) | 5401人 (21) |
| 駒ヶ根市 | 3092人 (7) | 2622人 (7) |
| 大野市 | 4224人 (15) | 3337人 (12) |
| 中野市 | 2566人 (10) | 1661人 (9) |
| 飯山市 | 1997人 (10) | 1351人 (9) |
| 茅野市 | 5052人 (13) | 4390人 (13) |
| 塩尻市 | 5856人 (15) | 5022人 (15) |
| 佐久市 | 9279人 (24) | 8003人 (25) |
| 曲町 | 5456人 (13) | 4614人 (14) |
| 千原市 | 2808人 (7) | 2322人 (7) |
| 東御市 | 8649人 (17) | 7331人 (17) |
| 小海町 | 456人 (3) | 283人 (2) |
| 川上村 | 447人 (3) | 256人 (3) |
| 南牧村 | 293人 (3) | 217人 (3) |
| 南相木村 | 62人 (1) | 42人 (1) |
| 北相木村 | 28人 (1) | 53人 (1) |
| 佐久穂町 | 1012人 (6) | 857人 (6) |
| 軽井沢町 | 1579人 (4) | 1473人 (5) |
| 御代田町 | 1395人 (3) | 1259人 (3) |
| 立科町 | 658人 (2) | 437人 (2) |
| 青木村 | 360人 (2) | 335人 (2) |
| 長和町 | 344人 (3) | 219人 (2) |
| 下諏訪町 | 1625人 (4) | 1341人 (4) |
| 富士見町 | 1213人 (5) | 1102人 (4) |
| 原村 | 619人 (2) | 656人 (2) |
| 辰野町 | 1779人 (6) | 1424人 (6) |
| 箕輪町 | 2245人 (6) | 2036人 (6) |
| 飯島町 | 802人 (3) | 649人 (3) |
| 南箕輪村 | 1413人 (3) | 1501人 (3) |
| 中川村 | 412人 (3) | 419人 (3) |
| 宮田村 | 948人 (2) | 814人 (2) |
| 松川町 | 1303人 (4) | 985人 (3) |
| 高森町 | 1273人 (3) | 1264人 (3) |
| 阿南町 | 390人 (7) | 279人 (6) |
| 阿智村 | 627人 (7) | 547人 (6) |
| 阿平村 | 35人 (2) | 24人 (1) |
| 根羽村 | 75人 (2) | 38人 (1) |
| 下條村 | 425人 (2) | 321人 (2) |
| 売天村 | 50人 (2) | 43人 (2) |
| 龍木村 | 67人 (4) | 45人 (4) |
| 泰阜村 | 147人 (2) | 116人 (2) |
| 喬木村 | 609人 (3) | 538人 (3) |
| 豊丘村 | 648人 (3) | 612人 (3) |
| 大鹿村 | 64人 (2) | 59人 (2) |
| 上松町 | 374人 (2) | 266人 (2) |
| 南木曾町 | 310人 (2) | 297人 (2) |
| 木祖村 | 207人 (2) | 195人 (2) |
| 王滝村 | 74人 (2) | 27人 (2) |
| 大桑村 | 346人 (2) | 179人 (2) |
| 木曾町 | 912人 (9) | 651人 (7) |
| 麻績村 | 252人 (2) | 147人 (2) |
| 山形村 | 131人 (2) | 105人 (2) |
| 北村 | 582人 (1) | 469人 (1) |
| 朝日村 | 839人 (2) | 642人 (2) |
| 筑北村 | 323人 (4) | 219人 (2) |
| 池田村 | 803人 (3) | 633人 (3) |
| 松川村 | 935人 (2) | 708人 (2) |
| 白馬村 | 759人 (3) | 619人 (3) |
| 小谷村 | 248人 (2) | 168人 (2) |
| 小坂町 | 1270人 (4) | 1075人 (4) |
| 小布施町 | 992人 (2) | 904人 (2) |
| 高山村 | 666人 (2) | 515人 (2) |
| 山ノ内村 | 1052人 (5) | 669人 (4) |
| 木島平村 | 414人 (2) | 327人 (2) |
| 野沢温泉村 | 311人 (2) | 217人 (2) |
| 信濃町 | 675人 (6) | 471人 (1) |
| 小川村 | 195人 (2) | 129人 (2) |
| 飯綱町 | 930人 (5) | 725人 (3) |
| 栄村 | 145人 (4) | 63人 (3) |

信濃毎日新聞デジタル
「高校野球」開設
速報・オリジナル記事
こちらから

| 市町村名 | 2010年児童生徒数 | 2020年児童生徒数 | 増減率 |
|------------|--------------|--------------|----------------|
| 辰野町 | 1,779 | 1,424 | - 20.0% |
| 箕輪町 | 2,245 | 2,036 | - 9.3% |
| 南箕輪村 | 1,413 | 1,501 | 6.2% |
| 伊那市 | 6,237 | 5,401 | - 13.4% |
| 宮田村 | 948 | 814 | - 14.1% |
| 駒ヶ根市 | 3,092 | 2,622 | - 15.2% |
| 飯島町 | 802 | 649 | - 19.1% |
| 中川村 | 412 | 419 | 1.7% |
| 大鹿村 | 64 | 59 | - 7.8% |
| 松川町 | 1,303 | 985 | - 24.4% |
| 高森町 | 1,273 | 1,264 | - 0.7% |
| 豊丘村 | 648 | 612 | - 5.6% |
| 喬木村 | 609 | 538 | - 11.7% |
| 飯田市 | 9,332 | 7,990 | - 14.4% |
| 阿智村 | 627 | 547 | - 12.8% |
| 合計 | 30,784 | 26,861 | - 12.7% |

資料1-2

建設工事費概算費用比較

1.総括

※概算工事費算定根拠はR4.8.1時点とする

(単位:千円、()内:税込)

| 名称 | プロポーザル時 (R3.11.29) | 中間提示時 (R4.4.11) | 中間提示時 (R4.5.13) | 基本設計最終案 (R4.8.4) | 当初より増加額 | 当初比 |
|------|-----------------------|--------------------|--------------------|---------------------|-------------|------|
| 本工事 | 318,000 | 447,674 | 442,140 | 477,955 | 159,955 | 150% |
| | { 349,800 } | { 492,441 } | { 486,354 } | { 525,750 } | { 175,950 } | |
| 付帯工事 | 38,700 | 48,205 | 48,205 | 50,166 | 11,466 | 130% |
| | { 42,570 } | { 53,025 } | { 53,025 } | { 55,183 } | { 12,613 } | |
| 合計 | 356,700 | 495,879 | 490,345 | 528,121 | 171,421 | 148% |
| | { 392,370 } | { 545,466 } | { 539,379 } | { 580,933 } | { 188,563 } | |

139,179千円増額
(153,096千円増)

5,534千円減額
(6,087千円減額)

37,776千円増額
(41,554千円増額)

2.主な増額理由と金額

| | | |
|-------------------------|----------------------------|------------------|
| ・発注者要望(仕様変更)による | 87,100 千円 { 95,810 千円 } | |
| ・物価上昇による | 16,600 千円 { 18,260 千円 } | |
| ・国交省積算基準での計上・安全対策による ※1 | 30,811 千円 { 33,892 千円 } | 別紙補足説明資料 のとおり |
| ・分離発注による ※2 | 21,818 千円 { 24,000 千円 } | |

※1 8/1提示額37,052千円を積算間違いにより訂正

※2 建設工事を分離発注した際の増加額を積算、包含発注か分離発注かは実施設計において検討

3.増額項目の概略

・別紙増額項目一覧表のとおり

4.分離発注区分

| | |
|---------|------------------------------|
| ・建築主体工事 | 323,796 千円 { 356,176 千円 } |
| ・電気設備工事 | 106,186 千円 { 116,805 千円 } |
| ・機械設備工事 | 77,342 千円 { 85,076 千円 } |
| ・造成工事 | 20,796 千円 { 22,876 千円 } |

[580,933]

松川町長 宮下 智博 殿
松川町議会議長 黒澤 哲郎 殿
旧松川青年の家エリア整備計画検討委員会
委員長 宮下 徹 殿

令和3年1月15日

竹村工業株式会社
代表取締役 鹿養 広司
代表取締役特別顧問 竹村 幸宏

要 望 書

〔要望趣旨〕

1. 旧松川青年の家本館棟を「屋根の改修とアスベスト撤去とそれに係る改修工事」（県の補助金を利用する）を終えた状態で当社に無償で払い下げてください。他の工事（内装、電気、設備工事等）は当社の負担で実施致します。
2. 払い下げ後の旧松川青年の家本館棟の利用目的、
通常時は
 - ① 「山岳観光の拠点（仮称：山岳観光チャレンジセンター）」：資料1 **緑枠**
 - ② 「研修、交流、イベント等と組み合わせた素泊まりを基本とした安価な宿泊施設」：資料1 **青枠**
 - ③ 「レンタルリモートオフィス」：資料1 **桃色枠**として利用する。

<参考> 資料1：旧青年の家本館棟平面図

災害時には

④ レンタル済のレンタルリモートオフィス以外の全ての施設を「避難所」として利用する。

3. 以上より、松川町はランニングコスト及び最後の廃棄費用を負担せず、災害時の様々な避難生活に対応できる避難所を確保できます。

[要 望 理 由]

1. 現在、町は維持費がかかるという理由で解体の提案をし、議会では解体賛成派と解体反対派がほぼ半々ではないかと思えます。

今回の提案は、町が問題にしている維持費だけではなく、将来の解体費も町が負担する必要はありません。

2. また、前述した4つの利用目的では「令和2年6月に行われたパブリックコメントに寄せられた4つの提案」のコンセプトの内、

- ・ 防災拠点
- ・ 山岳観光の拠点
- ・ 安価で利用できる施設

の3つのコンセプトを満たしていると思えます。

また、残りの提案のコンセプトである

- ・ 人・モノ・資産・情報の流入を先取りする戦略的拠点施設

については「レンタルリモートオフィス」として運用することで、その可能性と将来性について具体的に検討することが出来ると思えます。

3. そして、「屋根の改修とアスベスト撤去とそれに係る改修工事」以外の工事（内装、電気、設備工事等）を当社が負担することで県の補助金が大幅に減額されると思えます。

4. 次に、〔要望趣旨〕2で示した払下げ後の利用目的について現時点での考えをお示しします。

③上片桐地区の通過交通量の低減



主交通を上片桐(停)バイパスに誘導し、広域農道の交通量の低減を図る

- 新設道路が主道路となり、広域農道とはT字の交差点となります

(松川大橋から眺む)

15

今後について

- (一) 上片桐停線バイパスの必要性について町の必要性、意向確認
- 前提条件に関する町の意向確認
- 前提条件を満足した段階で事業進捗に向け検討を進めます

16

設計金額が業者に漏洩しているという事実が必要であるところ、町の調査(乙3)においてそのような事実は明らかになっておらず、原告らもこの点の立証は何ら行っていない。

むしろ、原告らは設計金額については、設計事務所から漏洩した可能性が高いことを明確に指摘しており(原告ら準備書面(8)第1の2(2))、被告準備書面(7)第2の1(1)で反論したように、主張が一貫していない。

- (3) また、仮に町から入札参加業者に対して予定価格が漏洩したとしても、その漏洩ルートについては、誰が、いつ、誰に対し、どのような情報を漏洩したのか、何ら具体的な立証がなく、前町長の管理体制と情報漏洩の因果関係が不明である。

さらに、そもそも、町の管理には何ら違法性はない。設計事務所が作成した設計金額をそのまま予定価格とすることに合理性があることはこれまでも主張してきたとおりであるし、決裁過程において町の設計金額が複数の職員に知れることになるのは、一定程度は避けがたい事態であり、それをもって管理に不備があるとは到底言えない。

- (4) 漏洩行為を行った町職員を特定し、その者を当該職員に該当するとして理論構成するならまだしも、何ら具体的な主張もなく町長を当該職員であるとし、その管理を問題にして官製談合を主張することには論理の飛躍があり、到底認められない。

2 予定価格の設定が高額であるとの指摘について

- (1) 原告らが違法な財務会計行為であると指摘する高額な予定価格の設定については、本訴請求の趣旨との関係では違法な財務会計行為に該当しない。

すなわち、原告らの主張は官製談合による高額な落札価格により町に損害を与えた、というものであり、入札における予定価格が適正価格よりも高額であること自体は、官製談合の有無や成否には全く関係しないからである。

情報公開請求 長野県住宅供給公社に関する案件リスト

請求① 令和1年から現在までに発注した案件

| No. | 年度 | 件名 | 担当課 | 備考 | 枚数 |
|-----|----|------------------------------|----------|---------------|-----|
| 1 | 1 | まつかわの里室内温水プール改修工事に係る設計技術支援業務 | 産業観光課 | 199,100 | 3 |
| 2 | 2 | 小中学校照明LED化改修にかかる基本調査業務 | こども課 | 1,320,000 | 9 |
| 3 | 2 | 小中学校トイレ改修工事に係る支援業務 | こども課 | 2,266,000 | 8 |
| 4 | 3 | 元気センター(仮称)建設に係る技術支援業務 | 保健福祉課 | 1,683,000 | 6 |
| 5 | 3 | 旧松川青年の家改修工事に係る設計支援業務 | 産業観光課 | 454,300 | 7 |
| 6 | 3 | 学校施設等長寿命化計画に係る資料作成業務 | こども課 | 606,100 | 9 |
| 7 | 3 | 小中学校照明LED化改修に係る支援業務 | こども課 | 680,900 | 9 |
| 8 | 3 | 小中学校トイレ改修工事に係る施工監理支援業務 | こども課 | 1,138,000 | 7 |
| 9 | 4 | 元気センター(仮称)建設に係る技術支援業務 | 保健福祉課 | 1,892,000 | 6 |
| 10 | 4 | 旧松川青年の家長寿命化改修工事に係る設計支援業務 | 産業観光課 | 984,500 | 9 |
| 11 | 4 | 松川北小学校照明LED化改修工事に係る施工監理支援業務 | こども課 | 473,000 | 7 |
| 12 | 4 | 小中学校照明LED化改修工事に係る施工監理支援業務 | こども課 | 1,060,400 | 7 |
| 13 | 4 | 中学校昇降口バリアフリー化改修工事設計監理業務 | こども課 | 292,600 | 5 |
| 14 | 4 | 図書館資料館改修工事建築技術支援業務 | 生涯学習課図書館 | 1,661,000 | 12 |
| | | | | 15,310,900 合計 | 104 |

R2.2
3,586,000
5,162,300
6,363,500
R4.4

請求② 今後発注を予定している案件

| No. | 年度 | 件名 | 担当課 | 備考 |
|-----|----|---------------------|-------|---------------------|
| 15 | 4 | 生東リズム室解体支援業務 | 保健福祉課 | HP公開済 9月補正予算書P15 |
| 16 | 4 | 保育園等長寿命化計画に係る資料作成業務 | こども課 | HP公開済 当初予算書P62 |

請求③ 長野県住宅供給公社に発注しはじめた経過に関する情報

| No. | 年度 | 情報文書名 | 文書所管課 | 備考 | 枚数 |
|-----|----|-------------------------------|-------|------------------|----|
| 17 | 1 | 工事技術調査報告書 | 議会事務局 | | 26 |
| 18 | 1 | 現場工事監査結果の報告について | 議会事務局 | | 6 |
| 19 | 1 | 令和2年第2回松川町議会定例会 社会文教常任委員会 会議録 | 議会事務局 | | 50 |
| 20 | 1 | 令和2年第2回松川町議会定例会(第19日目) 会議録 | 議会事務局 | HP公開済 会議録P182 | |
| | | | | 合計 | 82 |